

# 令和5年度事業報告

## ● 緑化普及啓発活動

### I 緑化事業

県民の緑化意識の高揚と国民参加の森林づくりを推進するため、緑化イベント等の普及啓発活動や各種緑化コンクールの実施、森林ボランティア支援活動、みどりの少年団並びに青少年の育成活動の推進に取り組んだ。

#### (1) 森林・緑化についての普及啓発活動

緑化関連イベントへの出展、ホームページ・緑化啓発パンフレット及び緑化ポスターによる情報発信等により、緑化運動の趣旨等について広く県民に対し普及啓発を行った。

#### (2) 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの実施

青少年が緑化について考える機会を提供するため、県内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に、緑化ポスター原画コンクールを実施した。また、本県入賞作品については、(公社)国土緑化推進機構が実施する全国コンクールに推薦した。

審査会	受賞者	
県緑化推進会	特 選 3点	応募点数 49 点 応募校数 13 校
	入 選 3点	
	佳 作 3点	
国土緑化推進機構	特 選 6点	応募点数 28,741 点 応募県数 47 都道府県
	準特選 9点	
	入 選 36点	

#### (3) 森林ボランティア団体の活動促進

県民の森林ボランティア活動への参加促進と新たな森林ボランティアリーダーの養成を目的に、和歌山県森林インストラクター会と共催で「森づくり塾」を実施した。

塾は1年間を通じて座学と現地実習を行い、森林の現状と様々な問題点、獣害対策等に関する知識や人工林間伐作業やチェーンソーの使い方・竹林整備方法・苗木の植栽・森林観察など、森づくり活動に必要な技術講習を実施した。

- ① 現地実習 場 所：岩出市・紀美野町・有田川町・みなべ町・田辺市・すさみ町  
参加者：延べ299人
- ② 座学 場 所：和歌山市「中央コミュニティーセンター」等  
参加者：延べ291人

#### (4) かしの木バンクの運営

樹木の種子採取や苗木育成を通じ、森林や緑化に対する関心を高め、その重要性を理解してもらい、併せて森づくりや地域の緑化推進を目的として、ドングリを貯める

と苗木がもらえる「かしの木バンク事業」を実施した。

- ① ドングリ受付期間：令和5年10月1日～11月30日
- ② 苗木払戻期間：令和6年3月1日～3月31日
- ③ 登録者数：93人（R6.3月末）
- ④ 配布樹種：ウバメガシ・クヌギ・コナラ・アラカシ（1本/100ドングリ）  
上記以外の郷土樹種（1本/200ドングリ）
- ④ 払戻本数：235本

## II 青少年育成事業

次代を担う少年少女に、森林のもつ経済的、公益的機能を理解してもらうとともに、自然に親しみ、みどりを愛する豊かな人間性をもった社会人に育てることを目的に、下記の事業を実施した。

### （1）みどりの少年団活動支援事業

「緑を愛し、緑を守り・育てる心を養う」ことを目的に、青少年を育成するみどりの少年団の活動を支援するため助成金を交付した。

- ② 対象者：和歌山県みどりの少年団連盟に登録した団体
- ③ 助成数：32団体
- ④ 助成金額：639,748円（助成限度額20,000円/1団体）

### （2）都市と山村みどりの少年団交流集会（研修会）

県内各地のみどりの少年団員が集まり、森と海のSDGs講話や紀州備長炭風鈴づくり、木製フォトフレームづくり等の体験を通じ森林や林業の大切さを学び、また、各少年団による活動発表会や共同生活を通じて各団の交流を深め、今後のみどりの少年団活動を一層推進することを目的に交流集会を開催した。

- ② 日時：令和5年8月8日（木）
- ② 場所：和歌山県立白崎青少年の家（日高郡由良町）
- ③ 参加者：81名（団員67名、引率者14名）

## ● 緑の募金

森林や緑は、私達の豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれる県民共通の財産であり、県民一人一人がそれぞれの立場、可能な方法で森林づくりに関わる大切である。

このため「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」への協力を幅広く県民に呼びかけ、自発的な森林づくりへの参加を促進するとともに、県民の森林整備や緑化活動に対する支援を行った。

- ① 募金実績：12,287,205円
- ② 運動期間：秋期 令和5年9月1日～10月31日  
春期 令和6年3月1日～5月31日

③募金方法：家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金等

### (1) 緑の募金普及啓発活動

- ①募金の趣旨を広く県民に周知するため、リーフレットを作成し、小中高等学校に配布するとともに、「緑の募金ポスター」や「緑の募金だより」を活用したPR活動を行った。
- ②家庭募金の拡大・推進を図るため、各地方緑化推進会を通じて家庭募金未実施の市町村等に協力を呼びかけた。
- ③学校募金は教育委員会等に協力を依頼し、県内の各学校に協力を呼びかけた。
- ④職場募金は、各地方緑化推進会、市町村緑化推進委員会を通じ、各組織に協力を呼びかけた。
- ⑤企業募金は、県緑化推進会に関係する団体等及び県内企業に対しダイレクトメールにより協力依頼を行った。
- ⑥街頭募金は、「緑の募金全国一斉強化月間（4/15～5/14）」に合わせ、みどりの少年団と協同で、県内13箇所街頭募金を実施した。また、和歌山商工祭り等のイベントに参加し緑の募金活動を実施した。

### (2) 緑の募金事業

県内ボランティア等による森林保全活動や地域緑化活動、県内学校等における森林学習活動や学校緑化等を支援した。

- ①交付対象者：市町村緑化推進委員会、小中学校、幼稚園等、  
森林ボランティア団体、地域の自主的な団体等
- ②助成件数：36件
- ③助成額：5,874,080円

### (3) 中央交付金

緑の募金中央団体である（公社）国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を交付した。（緑の募金による森林整備等の推進に関する法律第18条）

- ② 交付対象者：公益社団法人 国土緑化推進機構
- ③ 交付額：491,000円

## ● 世界遺産の森林を守ろう基金

平成16年7月に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」には周辺の「文化的景観」も含まれている。この「文化的景観」のひとつである森林を保全するため、県民の方や企業から寄附を募るとともに、世界遺産周辺（バッファゾーン）の森林の整備・保全活動を支援した。

### (1) 普及啓発活動

ホームページ等を通じて広く一般の方にPR活動を行うと共に、多額の寄付をいた

だいた個人及び法人等に対して顕彰を行い「基金」の推進を図った。

寄附金実績 3件 549,605円

(2) 森林整備事業

世界遺産周辺（バッファゾーン）の森林（公有林等のシンボリックな場所）において、森林整備を行う市町村に対し助成を行った。

実施主体	九度山町
場 所	高野参詣道黒河道周辺森林整備
整備面積	1.95ha
助成金額	599,500円
実施内容	間伐及び林内整備

● 年間活動実績（令和5年7月1日～令和6年6月30日）

年 月	実施事項
令和5年 7月	・緑の募金事業 [第1次] の募集（6/26～7/31）
令和5年 8月	・第1回運営協議会開催（8/28）和歌山県民文化会館 411 会議室（和歌山市） ・全国緑化推進委員会連絡協議会総会及び全国緑の少年団連盟総会 公益社団法人国土緑化推進機構定時総会（8/29）アルカディア市ヶ谷（私学会館）（東京都）
令和5年 9月	・緑の募金 [秋期] 運動の実施（9/1～10/31） ・第1回理事会開催（書面決議）（9/11） ・第1回評議員会開催（9/14）和歌山県民文化会館 402 会議室（和歌山市） ・令和5年度緑の募金事業交付決定（9/15） ・近畿地区緑化推進協議会出席（11/19）兵庫県土地改良会館（兵庫県）
令和5年10月	・かしの木バンク受付開始（10月1日～11月30日） ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール審査会の開催（10/12）県庁北別館5階 5-A会議室
令和5年11月	・緑の募金事業 [第2次] 募集実施（11/1～11/30）
令和5年12月	・全国緑化推進委員会連絡協議会全体会議出席（12/14）アルカディア市ヶ谷（私学会館）（東京都）
令和6年 1月	・緑の募金実績の取りまとめ・実績報告（国土緑化推進会推進機構） ・緑の募金事業 [第2次] 募集に係る審議 運営協議会（書面審議）（1/12）
令和6年 2月	・緑の募金事業 [第2次] 募集に係る決議 理事会（書面決議）（2/13） ・緑の募金事業 [第2次] 交付決定（2/13）
令和6年 3月	・緑の募金 [春期] 運動の開始（3/1～5/31） ・かしの木バンク苗木配布（3/1～3/31）
令和6年 4月	・緑の募金全国一斉強化月間（4/15～5/14） ・県下一斉街頭募金活動の実施（県内13箇所）
令和6年 5月	・令和7年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画（兼第49回全国育樹祭ポスター原画）の募集 ・第74回全国植樹祭出席（5/26）（岡山県岡山市）
令和6年 6月	・第2回運営協議会の開催（書面決議）（6/1） ・第2回理事会の開催（6/14） 場所：和歌山県民文化会館 中会議室（和歌山市） ・緑の募金事業の額の確定・補助金支出及び実績の取りまとめ